

会社は特別手当の要求に応じるべきだ！

特別手当は年末手当の上積み要求だから応じるつもりはない？！

年末手当の妥結を撤回すれば議論する？！

社員へのねぎらいの気持ちはないのか！

JR東海の第2四半期決算はマスコミ報道にもあるように過去最高の純利益を上げました。しかし、全社員が期待していた年末手当は、私たちが要求した「3.5ヶ月分」からほど遠い「2.95ヶ月」というものでした。職場では他労組組合員からも落胆の声が渦巻いています。

本部は、JR発足25周年を迎え過去最高の純利益を上げるまでに会社を發展させた社員の功績に対して、会社として福利厚生の意味も込めて報いるためにも、年末手当とは全く別の形で特別手当として一律5万円と商品券5万円相当の支給を『申第20号』で要求しました。

しかし会社は、『申第20号』に対して「これは年末手当の要求を上積みするものである。すでに妥結した年末手当に関する要求には応じるつもりはない」として、特別手当の支給はおろか、組合との団体交渉まで拒否してきたのです。また会社は「JR東海労が年末手当の妥結を撤回するならば議論に応じるのはやぶさかではない」などと居丈高な態度をとりました。さらに「これから議論をするとなるとJR東海労組員だけ年末手当の支給が12月10日より遅れることになる」と、恫喝まがいの態度をとってきましたが、本部は「特別手当は年末手当とは全く別のものである」「会社は要求に応じるべきだ」と粘り強く主張しました。しかし、会社の不誠実な態度は変わらず、対立を確認すると共に「年末手当の妥結を撤回する考えはない」ことを明らかにしました。

JR東海を發展させてきたのは現場で働く社員の努力です。世間相場から大きくかけ離れた役員報酬を手にする経営陣のものではありません。役員に手厚く社員に冷たい会社の姿勢は、来年4月からの「地区レクリエーションの廃止」等にもあらわれています。理由をつけては福利厚生を切り下げようとしているのです。みなさん！要求すべきものは共に声を上げ要求しましょう！

特別手当は福利厚生の一環だ！
要求すべきものは共に声を上げ要求しよう！